

科目名		授業形態	担当教員名	
身体障害治療学VI		講義・演習	山本 翔太・井上 直樹 大永 寛・山田 陽子	
時間数（単位数）		授業回数	年次	開講時期
30 時間（1 単位）		15 回	2 年次	後期
授業の目的・概要				
<p>整形疾患の中で頸髄症、脊髄損傷の特徴と作業療法について学ぶ。 講義後半には実際に脊髄損傷の方に来校していただき、グループに分かれて評価と統合と解釈を行う。 また個人でレポート作成を行う。</p>				
授業の到達目標				
<p>1. 各疾患の概要（特徴、機序、症状、予後）について説明ができる。 2. 各疾患の評価を列挙できる。 3. 各疾患で行われる代表的な評価を一部実施できる。 4. 各疾患に対する作業療法について説明ができる。 5. 実際の脊髄損傷の方をケースとして、評価、統合と解釈を行うことができる。</p>				
授業計画				
回	内容			
1	頸髄症<山田>			
2	頸髄症<山田>			
3	脊髄損傷（講義）			
4	脊髄損傷（講義）			
5	脊髄損傷（評価準備）			
6	脊髄損傷（評価準備）			
7	脊髄損傷（評価準備）			
8	脊髄損傷（評価準備）			
9	脊髄損傷（評価）			
10	脊髄損傷（評価）			
11	脊髄損傷（評価準備）			
12	脊髄損傷（評価準備）			
13	脊髄損傷（評価）			
14	脊髄損傷（評価）			
15	脊髄損傷（まとめ）			
成績の評価方法と基準				
種別	割合	評価基準・その他備考		
筆記試験	70%			
レポート・課題	30%	脊髄損傷のケースレポートを各自作成する		
小テスト				
平常点				
その他				
自由記載	再試験は筆記試験を100%として成績判定する			
教科書				
書名	著者・編集者名		出版社名	
標準作業療法学 専門分野 身体機能作業療法学 第4版	山口昇 他編		医学書院	
標準作業療法学 専門分野 作業療法評価学 第3版	能登真一 他編		医学書院	
新版 日常生活活動（ADL）第2版 評価と支援の実際	伊藤利之 他編		医歯薬出版	
標準理学療法学・作業療法学 整形外科学 第4版	奈良勲 他監修		医学書院	
自由記載				
参考文献				
書名	著者・編集者名		出版社名	
特に指定しない				
自由記載				
備考				
講義の順序は変更する場合がある。その場合は書面または口頭にて通知する。				